

第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する 基本方針

第1版（令和4年5月13日）

全国高等学校選抜アイスホッケー大会苫小牧市実行委員会

1 本基本方針の運用について

本基本方針は、新型コロナウイルス感染症のまん延・拡大が危惧される現況下において、第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会（以下「大会」という。）の安全・安心な運営をするために必要な事項を定める。

したがって、大会の参加者及び保護者等を含む関係者（以下「参加者等」という。）は、記載事項を確実に遵守しなければならない。

上記のことから大会参加にあたり、以下の内容を了承したものとする。

- (1) 実行委員会が求めた書類等を提出する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症に関して、いかなる場合においても実行委員会の決定に従う。
- (3) 本基本方針を遵守しない場合は、大会の参加を認めない。

なお、本基本方針は、現時点での新型コロナウイルス感染症の感染状況に基づいて策定したものであり、今後の感染拡大等の状況に応じて随時改訂を行うものとする。

2 参加者対応マニュアルについて

別紙1【参加者対応マニュアル】のとおり

3 感染者等が発生した場合の参加基準及び競技運営等について

別紙2【感染者等が発生した場合の参加基準及び競技運営について】のとおり

4 感染者等が発生した場合の連絡等について

別紙3【感染者等が発生した場合の連絡等について】のとおり

5 大会開催可否の判断基準について

実行委員会は、以下(1)～(6)の場合においては、保健所や医師会等から意見を聴取したうえで、開催の可否を判断する。

- (1) 開催地に緊急事態宣言又は、まん延防止等重点措置が発令されている場合。
- (2) 会場の使用制限や関係機関の指示等により、大会の実施が不可能になった場合。
- (3) 多数の参加申込チームが辞退等をし、大会の実施が困難になった場合。
- (4) 開催地の医療機関において、感染症患者受入れ等の対応が困難な場合。
- (5) 大会期間中に、参加者等が新型コロナウイルスに感染した場合。

(6) その他、新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難と想定される場合。

6 大会の中止等に伴う経費負担について

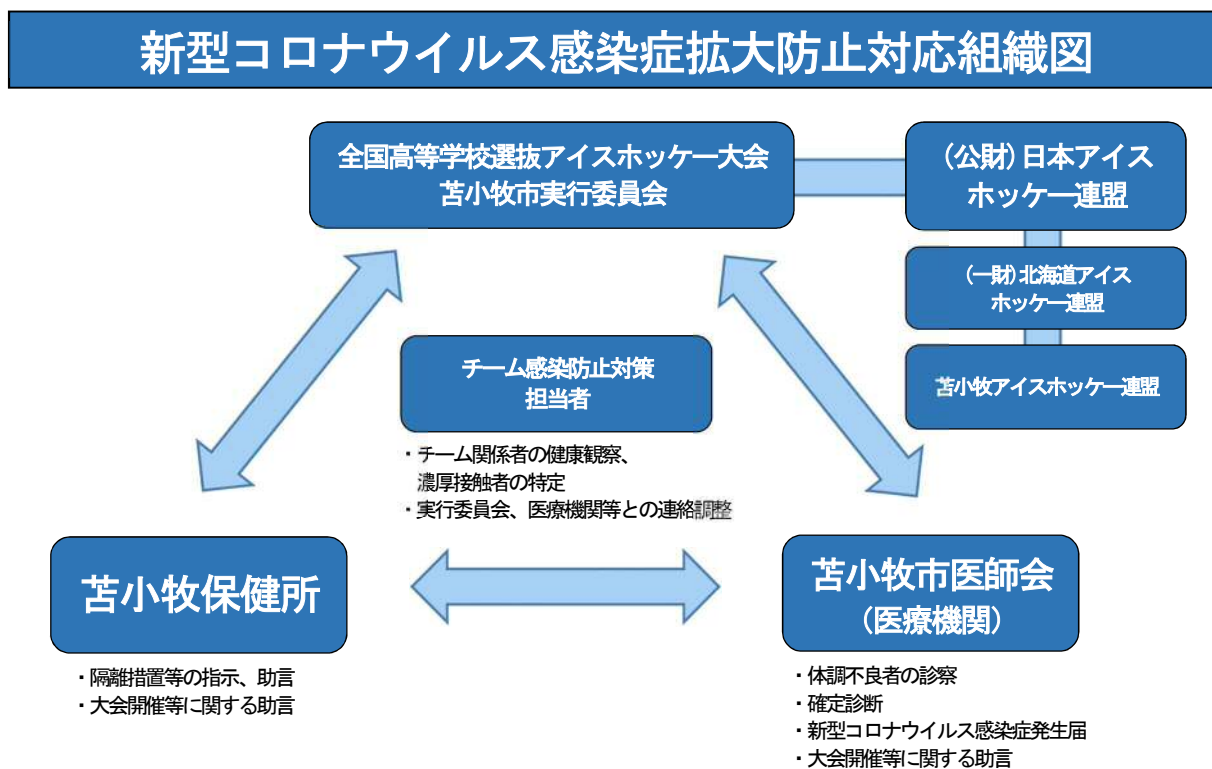
本基本方針に基づき、大会が中止された場合や参加者等の新型コロナウイルスへの感染に起因し、大会に出場することができなくなり、支払うこととなった、検査料・治療費・宿泊キャンセル料・交通費等の経費については、各チームの責任のもと、参加者等が負担することとし、実行委員会は負担しない。

7 個人情報の取扱いについて

- (1) 本基本方針に基づき提出する個人情報は、本大会における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する事項にのみ使用する。
- (2) 個人情報は、大会終了後3ヶ月間、実行委員会で保管し、その後は、実行委員会の責任下において破棄処分を行うこととする。

8 その他の事項について

本基本方針に定めのない事項については、保健所や医師会等との協議の上で、実行委員会会長が総合的に判断し、対応を決定する。



参加者対応マニュアル

出場チームの対応

1 対象者

チーム関係者（選手、監督、チームスタッフなど）

2 感染症対策について（大会期間中以外も含む）

- (1) 「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける。
- (2) 手洗い、消毒、咳エチケットに心がけ、定期的な検温を行う。
- (3) 競技や飲食等のとき以外は、可能な限り不織布マスクを着用する。
- (4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事に心がける。
- (5) 社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保する。
- (6) 罹患時の重症化リスク等を軽減する効果が見込まれるため、事前にワクチンの接種を推奨する。

3 チーム感染防止対策担当者について

- (1) 各チームは、新型コロナウイルス感染症対策に係る責任者（以下「チーム感染防止対策担当者」という。）を1名設定し、参加申込の際に実行委員会に報告する。
- (2) チーム感染防止対策担当者は、チーム内での感染防止対策徹底等の役割を担うと共に、実行委員会、保健所、保護者等との連絡調整を行う。
- (3) チーム感染防止対策担当者は、実行委員会に対して以下の情報を取りまとめて報告する。
 - ① チーム関係者の名簿
 - ② 大会前後10日間の行程（旅程）表
 - ③ 宿泊施設の部屋割表
 - ④ チーム関係者の基礎疾患
 - ⑤ 選手の保護者等の連絡先
- (4) チーム感染防止対策担当者は、大会及び前後10日間の期間に体調不良者（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚等の異常）や感染者等が発生した際の対応を事前に備える。
- (5) チーム感染防止対策担当者は、選手、監督、スタッフの日々の健康管理に加え、体調不良者が発生した際は、直ちに実行委員会に報告する。
- (6) チーム感染防止対策担当者は、チーム関係者の健康記録に異常や不備が無いことを確認する。
- (7) チーム感染防止対策担当者は、大会10日間前から大会期間中まで、チーム関係者の健康状態、行動内容を把握・管理する。
- (8) チーム感染防止対策担当者は、大会終了から10日間以内にチーム内で体調不良者が発生した場合

は、実行委員会に報告する。

4 健康状態と行動記録の報告について（健康管理アプリ、体調管理チェックシート）

- (1) チーム関係者は、公式練習の10日前（7月23日）から健康管理アプリ等により起床時と就寝時の体温、健康状態及び行動歴を記録し、実行委員会へ報告する。

スマートフォンの利用者 ⇒ 原則として健康管理アプリにより記録し報告する。
会場への入場受付時に同アプリの画面を提示する。

それ以外の者（アプリを利用できない場合） ⇒ 体調管理チェックシート（様式1・様式2）に記録し報告する。
チーム感染防止対策担当者がとりまとめて、総括表（様式3）とともに入場受付時に提出する。

- (2) 健康状態の報告に当たっては、自身の体調を正確に報告することとし、体調不良や感染の可能性があ
るにもかかわらず虚偽の報告をすることが無いようにする。
- (3) 体温の報告に当たり、解熱剤等を使用している場合などは、チーム感染防止対策担当者に報告する。
- (4) チーム関係者は、それぞれの大会終了日から10日間、健康管理アプリ等により起床時と就寝時の体
温、健康状態及び行動歴を記録する。

※ 虚偽の報告は、感染の拡大や大会の中止等、多くの関係者に迷惑を掛ける結果にもなりかねませんの
で絶対にしないでください。

5 検査の実施について（PCR検査、抗原検査）

【PCR検査】

- (1) チーム関係者は、原則7月29日にPCR検査を実施し、7月31日までに結果を実行委員会に報告す
る。

※ 参加チームの地域によって、検査日は変更となる場合があります。（別途実行委員会が指示）

- (2) PCR検査キットは、実行委員会が手配しチーム関係者に送付する。

【抗原検査】

- (1) チーム関係者は、公式練習（8月2日）から大会参加期間中に、毎日、抗原検査を実施する。
- (2) 検査を実施する場所、時間等については、実行委員会が指定する。
- (3) 抗原検査キットは、実行委員会が手配しチーム関係者に配布する。

※ チーム関係者には、PCR検査及び抗原検査にかかる費用の一部を感染症対策費用として負担していただ
きます。

6 移動について

- (1) 地元から苫小牧市まで及び苫小牧市内での移動については、「2 感染症対策について」に掲げる事
項を徹底し、公共交通機関を利用する際は、国や自治体等の推奨する感染予防策を講じる。

- (2) チームが貸切バスを利用する場合は、以下の感染症対策を講じる。
- ① バス乗車人数を減らし、できるだけ社会的距離を確保すること。
 - ② 着席する際はできるだけ前後左右に各1席の空席を確保し、運行中は移動しないこと。
 - ③ バス内では、不織布マスクを着用すること。
 - ④ バス内での飲食を控えること。
 - ⑤ 窓を開けて換気をする事。(1時間につき3回の換気が推奨される)
 - ⑥ 乗降時に手指を消毒すること。
- (3) チームは、事前にバス会社に対して以下の依頼事項を伝え、感染症対策を講じる。
- ① 利用前後に車内消毒をすること。
 - ② 運行中の車両通気・換気を徹底すること。
 - ③ 手指消毒液等を車内に設置すること。
 - ④ 乗務員の体調管理や不織布マスク、手袋の着用を徹底すること。

7 宿泊について

- (1) チームが宿泊施設を利用する場合は、以下の感染症対策を講じる。
- ① 部屋割りに当たっては、各部屋が密にならないようにすること。
 - ② チェックイン等の手続きについては、チーム感染防止対策担当者が行うこと。
 - ③ 部屋間の往来のほか、他チームや部外者の宿舎への立ち入りを禁止すること。
 - ④ 入浴は、できるだけ短時間とし会話なども控えること。
 - ⑤ 入浴は、個室のものを使用すること。また、個室に浴室がない場合は、チームの専用時間の設定や十分に換気などの対策のもと、できるだけ少人数かつ短時間で入浴し会話も控えること。
- (2) チームが宿泊施設を利用する場合には、事前にチームから施設に対して以下の依頼事項を伝え、感染症対策を講じる。
- ① チーム関係者と従業員との接触を減らすため、部屋の清掃などをチーム不在時に行うこと。
 - ② チームの部屋を同一フロアに手配することや浴場の専用時間を設定するなどし、他の利用客との接触を減らすこと。
 - ③ 使用する部屋を事前に消毒、換気すること。
 - ④ チームが訪れる各所(特にトイレ)に手指消毒液を設置すること。
- (3) その他、宿泊に関しては、宿泊施設関連の業界団体が定める最新の「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従う。

8 食事について

- (1) 食事中は会話を厳禁とし、会話をする際には不織布マスクを着用する。また、食事時間も長くならな

いように考慮する。

- (2) ビュッフェ形式で食事をする場合は、料理を取る際に飛沫が大皿に飛ぶことを防ぐため、各自が不織布マスクを着用し会話を控え、手袋または個人専用トングを使用すること。また、使い捨ての容器等を使用し、自室に持ち帰る対応も推奨する。
- (3) チームが宿泊施設を利用する場合には、事前にチームから施設に対して以下の依頼事項を伝え、感染症対策を講じる。
 - ① 対面及び横並びで座るときは、社会的距離を保つか、パーティション等で区切るなどし、飛沫が飛ばないように工夫すること。
 - ② 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす工夫をすること。
 - ③ チーム専用の場所や時間を設定するなどし、他の利用客との接触を減らすこと。
 - ④ 食事は一人ずつ取り分けた状態で用意すること。(ビュッフェ形式は可能な限り避ける)
 - ⑤ 食事中、宿泊施設の方は食事会場に居ないようにし、片付けはチームが退出したあとに行うこと。
 - ⑥ ドアや窓の開閉など換気状況を確認し、換気が不十分と推測された場合、扇風機などを置くこと。

9 宿泊施設内でのミーティングについて

- (1) 可能な限り、オンライン会議を推奨する。
- (2) 対面で実施する場合は、部屋の換気に留意し、社会的距離を確保する。
- (3) ミーティング終了後は、部屋の消毒を行うこと。

10 監督会議について

- (1) 監督（代表者）1名のみでの出席とする。
- (2) ユニフォームの確認は、事前に両チームが話し合いにより決める。

11 試合会場への入場について

- (1) 会場に入場する際は、実行委員会が実施する体温チェックを以下のとおり受ける。
 - ① 非接触型の体温チェックを行い、37.0℃未満だった場合は入場を認め、37.0℃以上だった場合は、接触型の体温計で再度の体温チェックを行う。
 - ② 接触型の体温チェックで37.5℃以上だった場合は、体調不良者として、会場への立ち入りを禁止する。

※ チーム関係者が、体調不良者となった場合は、チーム感染防止対策担当者が、実行委員会の指示によりチーム全員の検査等を実施する。
- (2) 会場に入場する際は、密にならないように留意し、誘導員の指示に従い、各会場で決められた動線により移動する。

- (3) 入場が可能になる時間以降に会場に到着するよう、宿泊施設等の出発時間を調整する。

1.2 大会前の練習等について

- (1) 公式練習の10日前（7月23日）から、他チームとの練習試合や合同練習を行わないこととし、OBなど、チーム外の者が練習に参加することも禁止とする。
なお、今大会の強化枠についても同様とする。
- (2) 公式練習の10日前から大会期間中にわたり、外部との接触を控える。

1.3 ウォーミングアップ等について

- (1) 試合前後などに行う、ウォーミングアップ及びトレーニングは、屋外の指定された場所で、不織布マスクを着用し行う。
- (2) チーム全体ではなくグループ単位で行うなど、感染症対策を講じる。

1.4 控室の利用について

- (1) 控室の利用は、1室につき15人までとし、人数制限を超える場合は、事前に事務局へ相談し、複数の控室を利用する。
- (2) 控室内では、社会的距離を確保する。
- (3) 控室の使用中は、ドアや窓を開けたままにし、扇風機やサーキュレーターを用いて換気に心がける。
また、控室を使用しない時間についてもドアを開放する。

1.5 ミーティングについて

- (1) 試合前後のミーティングは、屋外もしくは十分な広さを確保したうえで、短時間で実施する。
- (2) 控室で実施する場合は、1室の人数制限（15人まで）を遵守し、少人数・短時間で行う。
- (3) 不織布マスクを着用し、社会的距離を確保する。

1.6 試合について

【試合前】

- (1) ブルーラインの整列は、社会的距離を確保する。
- (2) 試合開始時の挨拶は以下のとおりとする。
 - ① レフェリーとの接触を避け、握手せず社会的距離を保ち、礼のみとする。
 - ② 相手チームのスタッフ等への挨拶は行わない。
 - ③ 円陣を組む際は、小さくならないように配慮し、エアータッチなどの工夫で接触を避ける。
 - ④ GKのウォーターボトル等は、自身で設置・移動する。

【試合中】

- (1) ベンチ内は社会的距離を意識し、向かい合わないなど工夫する。
- (2) ベンチ内では飛沫感染防止のため、大声を出さない。
- (3) 選手以外のスタッフは、不織布マスクの着用など、感染症対策を徹底する。
- (4) 唾吐きやいったん口に含んだ水などを吐きだす行為は禁止する。

【試合後】

- (1) レフェリーや相手チームへの挨拶はしない。
- (2) 着替えは最低限とし、会場から速やかに退出する。
- (3) シャワールームの利用は、禁止とする。
- (4) 防具の保管・管理は個別に行い、各自で消毒や洗濯を行う。
- (5) ゴミは各自で持ち帰る。

17 表彰式について

- (1) 試合終了後、両チーム分かれてオフィシャルボックスに向かって社会的距離をとり整列する。
- (2) チーム関係者は、不織布マスクを着用する。
- (3) 握手を禁止し、写真の撮影は社会的距離を配慮して行う。

18 大会参加の条件について

- (1) 以下のいずれかに該当するチーム関係者（個人）は、大会への参加を認めない。また、来場してはいけない。

① 感染者（PCR検査又は抗原検査で陽性反応があった者）

- ・大会参加の10日前の時点、又は、それ以降に感染が確認された者
- ・大会参加の11日前以前に感染した者であって、大会参加前日までに保健所から療養解除の判断がされていない者

② 濃厚接触者

- ・大会参加の7日前以降に保健所等から濃厚接触者と判断された者
- ・大会参加の8日前以前に濃厚接触者と判断された者であって、大会参加前日までに待機期間が終了されていない者

※濃厚接触者とは、次のいずれかに該当する者

- ・保健所等の調査において新型コロナウイルス感染症感染者の濃厚接触者と判断された者
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる人がいる者
- ・大会参加の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある者
- ・大会参加の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある者又は当該国、地域等の在住者との濃厚接触がある者

③ 体調不良者

- ・37.5℃以上の発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚等の異常がある者

④ 陰性の結果を確認できない者

- ・PCR検査や抗原検査の結果が、「陽性」、「ウイルスを検出」、「リスクが高い」、「判定不可」、「リスクが低い」など、「陰性」又はウイルスを検出していない旨を確認できない場合は、大会参加を認めない。

⑤ その他実行委員会が感染拡大防止の観点から、参加を不相当と認めた者

(2) 以下のいずれかに該当するチームは、大会への参加を認めない。また、来場してはいけない。

- ① チーム関係者に感染者又は体調不良者が発生したチーム
- ② 今大会で、過去に対戦したチームから感染者又は体調不良者が発生したチーム
- ③ その他実行委員会が感染拡大防止の観点から、参加を不相当と認めたチーム

(3) 参加の可否判断基準

① チーム関係者（個人）の参加判断基準表

区分	10～8日前 (7/23～25)	7～4日前 (7/26～29)	3～1日前 (7/30～8/1)	公式練習以降 (8/2以降)
本人が 感染した場合	×	×	×	×
本人が 濃厚接触者となった場合	▲	×	×	×
本人が 体調不良者となった場合	△	△	×	×

▲：8月1日までに濃厚接触者の待機期間が終了していれば参加できる。

△：薬剤を服用していない状態で感染疑い症状消失後、大会参加前日までに72時間以上経過していれば参加できる。

×：参加不可。

② 出場チームの参加判断基準表

区分	10～8日前 (7/23～25)	7～4日前 (7/26～29)	3～1日前 (7/30～8/1)	公式練習以降 (8/2以降)
チーム内で 感染者が発生した場合	×	×	×	×
チーム内で 濃厚接触者が発生した場合	▲	×	×	×
チーム内で 体調不良者が発生した場合	△	△	×	×
過去に対戦したチームで 感染者が発生した場合	—	—	—	×
過去に対戦したチームで 体調不良者が発生した場合	—	—	—	×

▲：8月1日までに濃厚接触者の待機期間が終了していれば参加できる。

△：体調不良者の症状解消後、大会参加前日までに72時間以上経過していれば参加できる。

×：参加不可。

大会運営スタッフの対応

1 対象者

大会運営スタッフ（大会役員、競技役員、試合運営に関わるスタッフなど）

2 感染症対策について（大会期間中以外も含む）

- (1) 「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける。
- (2) 手洗い、消毒、咳エチケットに心がけ、定期的な検温を行う。
- (3) 競技や飲食等のとき以外は、可能な限り不織布マスクを着用する。
- (4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事に心がける。
- (5) 社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保する。
- (6) 罹患時の重症化リスク等を軽減する効果が見込まれるため、事前にワクチンの接種を推奨する。

3 健康状態と行動記録の報告について（健康管理アプリ、体調管理チェックシート）

- (1) 大会運営スタッフは、大会参加の10日前から健康管理アプリ等により起床時と就寝時の体温、健康状態及び行動歴を記録し、実行委員会へ報告する。

スマートフォンの利用者 ⇒ 原則として健康管理アプリにより記録し報告する。
会場への入場受付時に同アプリの画面を提示する。

それ以外の者（アプリを利用できない場合） ⇒ 体調管理チェックシート（様式1・様式2）に記録し報告する。

- (2) 健康状態の報告に当たっては、自身の体調を正確に報告することとし、体調不良や感染の可能性があ
るにもかかわらず虚偽の報告をすることが無いようにする。
- (3) 体温の報告に当たり、解熱剤等を使用している場合などは、実行委員会に報告する。
- (4) 大会運営スタッフは、それぞれの大会終了日から10日間、健康管理アプリ等により起床時と就寝時
の体温、健康状態及び行動歴を記録する。

※ 虚偽の報告は、感染の拡大や大会の中止等、多くの関係者に迷惑を掛ける結果にもなりかねませんの
で絶対にしないでください。

4 検査の実施について（PCR検査、抗原検査）

【PCR検査】

- (1) 大会運営スタッフは、大会参加よりも前にPCR検査を実施し、結果を実行委員会に報告する。
- (2) PCR検査キットは、実行委員会が手配し、事前に大会運営スタッフに送付する。
- (3) PCR検査の費用は、実行委員会が負担する。

【抗原検査】

- (1) 大会運営スタッフは、大会参加期間中に、毎日、抗原検査を実施する。

- (2) 検査を実施する場所、時間等については、実行委員会が指定する。
- (3) 抗原検査キットは、実行委員会が手配し配布する。
- (4) 抗原検査の費用は、実行委員会が負担する。

5 移動について

- (1) 地元から苫小牧市まで及び苫小牧市内での移動については、「2 感染症対策について」に掲げる事項を徹底し、公共交通機関を利用する際は、国や自治体等の推奨する感染予防策を講じる。

6 試合会場への入場について

- (1) 会場に入場する際は、実行委員会が実施する体温チェックを以下のとおり受ける。
 - ① 非接触型の体温チェックを行い、37.0℃未満だった場合は入場を認め、37.0℃以上だった場合は、接触型の体温計で再度の体温チェックを行う。
 - ② 接触型の体温チェックで37.5℃以上だった場合は、体調不良者として、会場への立ち入りを禁止する。

7 大会参加の条件について

- (1) 以下のいずれかに該当する大会運営スタッフは、大会への参加を認めない。また、来場しては行けない。
 - ① 感染者（PCR検査又は抗原検査で陽性反応があった者）
 - ・大会参加の10日前の時点、又は、それ以降に感染が確認された者
 - ・大会参加の11日前以前に感染した者であって、大会参加前日までに保健所から療養解除の判断がされていない者
 - ② 濃厚接触者
 - ・大会参加の7日前以降に保健所等から濃厚接触者と判断された者
 - ・大会参加の8日前以前に濃厚接触者と判断された者であって、大会参加前日までに待機期間が終了されていない者
- ※濃厚接触者とは、次のいずれかに該当する者

 - ・保健所等の調査において新型コロナウイルス感染症感染者の濃厚接触者と判断された者
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる人がいる者
 - ・大会参加の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある者
 - ・大会参加の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある者又は当該国、地域等の在住者との濃厚接触がある者
- ③ 体調不良者
 - ・37.5℃以上の発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚等の異常がある者
 - ④ 陰性の結果を確認できない者
 - ・PCR検査や抗原検査の結果が、「陽性」、「ウイルスを検出」、「リスクが高い」、「判定不可」、「リ

スクが低い」など、「陰性」又はウイルスを検出していない旨を確認できない場合は、大会参加を認めない。

⑤ その他実行委員会が感染拡大防止の観点から、参加を不適当と認めたる者

(2) 参加の可否判断基準

① 大会運営スタッフの参加判断基準表

区分	10～8日前 (7/23～25)	7～4日前 (7/26～29)	3～1日前 (7/30～8/1)	公式練習以降 (8/2以降)
本人が 感染した場合	×	×	×	×
本人が 濃厚接触者となった場合	▲	×	×	×
本人が 体調不良者となった場合	△	△	×	×

▲：8月1日までに濃厚接触者の待機期間が終了していれば参加できる。

△：薬剤を服用していない状態で感染疑い症状消失後、大会参加前日までに72時間以上経過していれば参加できる。

×：参加不可。

メディア等関係者の対応

1 対象者

メディア等関係者（報道関係者、大学関係者など）

2 感染症対策について（大会期間中以外も含む）

- (1) 「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける。
- (2) 手洗い、消毒、咳エチケットに心がけ、定期的な検温を行う。
- (3) 競技や飲食等のとき以外は、可能な限り不織布マスクを着用する。
- (4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事に心がける。
- (5) 社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保する。
- (6) 罹患時の重症化リスク等を軽減する効果が見込まれるため、事前にワクチンの接種を推奨する。

3 事前申込んで

メディア等関係者が、大会の取材・視察を行う場合は、大会3週間前までに実行委員会に申し込みが必要となる。

4 健康状態と行動記録の報告について（健康管理アプリ、体調管理チェックシート）

- (1) メディア等関係者は、大会参加の10日前から健康管理アプリ等により起床時と就寝時の体温、健康状態及び行動歴を記録し、実行委員会へ報告する。

スマートフォンの利用者 ⇒ 原則として健康管理アプリにより記録し報告する。
会場への入場受付時に同アプリの画面を提示する。

それ以外の者（アプリを利用できない場合） ⇒ 体調管理チェックシート（様式1・様式2）に記録し報告する。

- (2) 健康状態の報告に当たっては、自身の体調を正確に報告することとし、体調不良や感染の可能性があ
るにもかかわらず虚偽の報告をすることが無いようにする。
- (3) 体温の報告に当たり、解熱剤等を使用している場合などは、実行委員会に報告する。
- (4) メディア等関係者は、それぞれの大会終了日から10日間、健康管理アプリ等により起床時と就寝時
の体温、健康状態及び行動歴を記録する。

※ 虚偽の報告は、感染の拡大や大会の中止等、多くの関係者に迷惑を掛ける結果にもなりかねませんの
で絶対にしないでください。

5 検査結果の提出について

- (1) 実行委員会は、感染状況等により、入場を希望するメディア等関係者に対して、PCR検査の結果
（陰性証明）の提出を求める場合がある。

その際は、実行委員会から事前申込を行ったメディア等関係者に通知する。

(2) PCR検査は、各自で手配し費用は本人が負担する。

※ 感染拡大により無観客試合になった際などに、検査結果を提出していただきます。

6 移動について

(1) 地元から苫小牧市まで及び苫小牧市内での移動については、「2 感染症対策について」に掲げる事項を徹底し、公共交通機関を利用する際は、国や自治体等の推奨する感染予防策を講じる。

7 試合会場への入場について

(1) 会場に入場する際は、実行委員会が実施する体温チェックを以下のとおり受ける。

① 非接触型の体温チェックを行い、37.0℃未満だった場合は入場を認め、37.0℃以上だった場合は、接触型の体温計で再度の体温チェックを行う。

② 接触型の体温チェックで37.5℃以上だった場合は、体調不良者として、会場への立ち入りを禁止する。

8 取材等について

(1) 体調不良や感染の可能性のある者は、取材やスカウト活動等（以下「取材等」という。）を認めない。

(2) 取材等によりチーム関係者に接触する場合は、以下の感染症対策のもとで行うこととし、不十分な場合は、実施を認めない。

① 常時、不織布マスクを着用する。

② 決められた動線により移動し、指定した場所で活動する。

③ 屋外やオンライン等での実施を基本とし、対面の場合は、社会的距離をとり短時間で済ませる。

9 大会参加の条件について

(1) 以下のいずれかに該当するメディア等関係者は、大会参加を認めない。また、来場してはいけない。

① 感染者（PCR検査又は抗原検査で陽性反応があった者）

・大会参加の10日前の時点、又は、それ以降に感染が確認された者

・大会参加の11日前以前に感染した者であって、大会参加前日までに保健所から療養解除の判断がされていない者

② 濃厚接触者

・大会参加の7日前以降に保健所等から濃厚接触者と判断された者

・大会参加の8日前以前に濃厚接触者と判断された者であって、大会参加前日までに待機期間が終了されていない者

※濃厚接触者とは、次のいずれかに該当する者

- ・保健所等の調査において新型コロナウイルス感染症感染者の濃厚接触者と判断された者
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる人がいる者
- ・大会参加の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある者
- ・大会参加の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある者又は当該国、地域等の在住者との濃厚接触がある者

③ 体調不良者

- ・37.5℃以上の発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚等の異常がある者

④ 陰性の結果を確認できない者

- ・PCR検査や抗原検査の結果が、「陽性」、「ウイルスを検出」、「リスクが高い」、「判定不可」、「リスクが低い」など、「陰性」又はウイルスを検出していない旨を確認できない場合は、大会参加を認めない。

⑤ その他実行委員会が感染拡大防止の観点から、参加を不適当と認めたる者

(2) 参加の可否判断基準

① メディア等関係者の参加判断基準表

区分	10～8日前 (7/23～25)	7～4日前 (7/26～29)	3～1日前 (7/30～8/1)	公式練習以降 (8/2以降)
本人が 感染した場合	×	×	×	×
本人が 濃厚接触者となった場合	▲	×	×	×
本人が 体調不良者となった場合	△	△	×	×

▲：8月1日までに濃厚接触者の待機期間が終了していれば参加できる。

△：薬剤を服用していない状態で感染疑い症状消失後、大会参加前日までに72時間以上経過していれば参加できる。

×：参加不可。

試合観戦者の対応

※感染状況等を踏まえて、試合観戦者の入場を禁止し、無観客試合とする場合があります。

1 対象者

観客として試合を観戦する者

2 感染症対策について（大会期間中以外も含む）

- (1) 「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける。
- (2) 手洗い、消毒、咳エチケットに心がけ、定期的な検温を行う。
- (3) 競技や飲食等のとき以外は、可能な限り不織布マスクを着用する。
- (4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事に心がける。
- (5) 社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保する。
- (6) 罹患時の重症化リスク等を軽減する効果が見込まれるため、事前にワクチンの接種を推奨する。

3 移動について

- (1) 地元から苫小牧市まで及び苫小牧市内での移動については、「2 感染症対策について」に掲げる事項を徹底し、公共交通機関を利用する際は、国や自治体等の推奨する感染予防策を講じる。

4 健康管理について

- (1) 観戦者は、試合会場に来場する10日前から検温等を行い、体調管理を徹底する。

5 試合会場への入場について

- (1) 会場に入場する際は、宣誓書（様式4）にて健康状態などを報告し、実行委員会が実施する体温チェックを以下のとおり受ける。
 - ① 非接触型の体温チェックを行い、37.0℃未満だった場合は入場を認め、37.0℃以上だった場合は、接触型の体温計で再度の体温チェックを行う。
 - ② 接触型の体温チェックで37.5℃以上だった場合は、体調不良者として、会場への立ち入りを禁止する。

6 試合観戦について

- (1) 会場内では「2 感染症対策について」に掲げる事項を徹底し、観戦中は以下のことを禁止する。
 - ① 声援を送ること。
 - ② 試合中に席から立ち上がったたり、移動すること。

※試合中の移動は控えて、できるだけピリオド間に行ってください。

- ③ 会場内で飲食をすること。
- ④ 他の来場者と長時間にわたり会話すること。

感染者等が発生した場合の参加基準及び競技運営について

■ 8月1日の合宿枠から参加するチームの例

日時	7月29日(金)	7月30日(土)	7月31日(日)	8月1日(月)	8月2日(火)	8月3日(水)	8月4日(木)	8月5日(金)	8月6日(土)	8月7日(日)
大会日程	-	【合宿枠】	【合宿枠】	【合宿枠】	【公式練習】	【予選リーグ①】	【予選リーグ②】	【予選リーグ③】	【準々決勝・準決勝】	【3位決定戦・決勝】
チーム日程				単独練習	公式練習	試合	試合	試合	試合	試合
	PCR検査実施		PCR検査結果		抗原検査実施	抗原検査実施	抗原検査実施	抗原検査実施	抗原検査実施	抗原検査実施

ケース1

ケース2

ケース3

ケース4

ケース5.6

ケース7

検査のタイミング

○PCR検査を大会前に行い、陰性証明書を健康アプリに登録または提出させる【7/29検査実施、7/31結果判明】

○大会期間は毎日抗原検査を行う【8/2～8/7】

【ケース1】

7月31日（日）のPCR検査結果で「陽性」が判明した場合

【例】
令和4年7月31日（日） PCR検査結果：「陽性」



・当該チームは大会出場不可

【ケース2】

合宿枠期間中に体調不良者が発生した場合

【例】
令和4年8月1日（月） 合宿枠期間中：体調不良（発熱等）



- ・当該チーム全員に抗原検査を実施
- ・体調不良者は医療機関受診、PCR検査実施
- ・当該チームは大会出場不可
※陽性の場合、当該チームは隔離（7日間）
- ・当該チーム以外で大会は継続

- 合宿枠期間中に体調不良者が発生した場合、当該チーム全員に抗原検査を実施する。
- 体調不良者は医療機関を受診させ、PCR検査を実施する。
- 結果に関わらず、当該チームは大会出場不可とする。なお、陽性の場合、当該チームは7日間の隔離となる。
- 他チームとの接触がないことから大会は継続する。

【ケース3】

公式練習の朝の抗原検査で「陽性」が判明した場合

【例】
令和4年8月2日（火） 公式練習前：抗原検査「陽性」



- ・当該チームは大会出場不可
- ・当該チームは隔離（7日間）
- ・当該チーム以外で大会は継続

- 公式練習の朝の抗原検査で「陽性」が判明した場合、当該チームは大会出場不可とし、7日間の隔離となる。
- 他チームとの接触がないことから大会は継続する。

【ケース4】

予選リーグ時に体調不良者が発生した場合

【例】
令和4年8月3日（水） 予選リーグ：体調不良（発熱等）



- ・当該チーム及び対戦した全チームに抗原検査を実施
- ・体調不良者は医療機関受診、PCR検査実施
- ・当該チーム及び対戦した全チームは大会出場不可
※陽性が判明したチームは隔離（7日間）
- ・当該チーム及び対戦した全チーム以外で大会は継続

- 予選リーグ実施中に体調不良者が発生した場合、当該チーム及び過去に対戦した全チームに抗原検査を実施する。
- 体調不良者は医療機関を受診させ、PCR検査を実施する。
- 結果に関わらず、当該チーム及び対戦した全チームは大会出場不可とする。なお、陽性が判明したチームは7日間の隔離となる。
- 当該チーム及び対戦した全チーム以外のチーム（リーグ）で大会は継続する。

【ケース5】

準々決勝前の朝の抗原検査で「陽性」が判明した場合

【例】
令和4年8月6日（土） 準々決勝前：抗原検査「陽性」



- ・当該チーム及び対戦した全チームに抗原検査を実施
- ・当該チームは大会出場不可
- ・当該チームは隔離（7日間）
- ・当該チーム以外で大会は継続

- 準々決勝の朝の抗原検査で「陽性」が判明した場合、当該チーム及び過去に対戦した全チームに抗原検査を実施する。
- 対戦したチームが既に帰省している場合は、健康管理の徹底をチームに指示する。
- 当該チームは大会出場不可とし、7日間の隔離となる。
- 当該チーム以外のチームで大会は継続する。

【ケース6】

準決勝終了後に体調不良者が発生した場合

【例】
令和4年8月6日（土） 準決勝終了後：体調不良（発熱等）



- ・当該チーム及び対戦した全チームに抗原検査を実施
- ・体調不良者は医療機関受診、PCR検査実施
- ・当該チーム及び対戦した全チームは大会出場不可
※陽性が判明したチームは隔離（7日間）
※よって決勝、3位決定戦は実施しない

- 準決勝終了後に体調不良者が発生した場合、当該チーム及び過去に対戦した全チームに抗原検査を実施する。
- 対戦したチームが既に帰省している場合は、健康管理の徹底をチームに指示する。
- 体調不良者は医療機関を受診させ、PCR検査を実施する。
- 結果に関わらず、当該チーム及び対戦した全チームは大会出場不可となることから決勝、3位決定戦は実施しない。なお、陽性が判明したチームは7日間の隔離となる。

【ケース7】

敗退したチームから「陽性」が判明した場合

【例】

令和4年8月7日（日）

8月4日に対戦したチーム：「陽性」



- ・当該チーム及び対戦した全チームに抗原検査を実施
 - ・当該チーム及び対戦した全チームは大会出場不可
- ※よって決勝、3位決定戦は実施しない

- 敗退したチームから「陽性」が判明した場合、当該チーム及び過去に対戦した全チームに抗原検査を実施する。
- 対戦したチームが既に帰省している場合は、健康管理の徹底をチームに指示する。
- 対戦したチームが出場不可となることから、決勝、3位決定戦は実施しない。

感染者等が発生した場合の連絡等について

出場チームの対応

- 1 大会参加10日前（7月23日）に感染者等が発生した場合の連絡について
 - (1) チーム感染防止対策担当者は、チーム内に感染者、濃厚接触者及び体調不良者（以下「感染者等」という。）が発生した場合、速やかに実行委員会に報告すること。
 - (2) 実行委員会は感染者等の発生に伴う措置について、本基本方針に基づき、チーム感染防止対策担当者に指示・勧告する。

- 2 大会期間中に感染者等が発生した場合の連絡について
 - (1) チーム感染防止対策担当者は、大会期間中において、チーム内に感染者等が発生した場合、速やかに実行委員会に報告し、医療機関に電話で相談のうえで、受診するなどの指示を受けること。
 - (2) チーム感染防止対策担当者は、行動内容等をもとに濃厚接触者を特定し、感染の有無に関わらず、速やかに実行委員会へ報告すること。 ※原則、チーム関係者全員が濃厚接触者となります。
 - (3) 実行委員会は感染者等の発生に伴う措置について、本基本方針に基づき、チーム感染防止対策担当者に指示・勧告する。
 - (4) 保健所等から隔離措置の指示があった場合は、以下の対応とする。
 - ① 感染者の入院先は、保健所が調整・指定する。
 - ② 隔離措置に備え、待機する宿泊施設等は各チームが手配すること。
実行委員会は、斡旋等を行わない。
 - ③ 感染者等は、公共交通機関を使用することができないため、移動手段を事前に想定しておくこと。また、貸し切りバス使用等については、保健所の指示に従うこと。
 - (5) 大会期間中、チーム関係者の家族や同居者が感染者や濃厚接触者と特定された場合、チーム感染防止対策担当者は、速やかに実行委員会に報告すること。

- 3 大会終了後10日以内に感染者等が発生した場合の連絡について
 - (1) チーム感染防止対策担当者は、大会終了後10日以内に、チーム内に感染者等が発生した場合、医療機関又は保健所の指示に従うとともに、速やかに実行委員会に報告すること。

その他の大会関係者の対応

その他の大会関係者において、体調不良や感染が疑われる場合には、速やかに実行委員会に報告することとし、上記に準じて対応する。

体調管理チェックシート【来場初日用】

※健康アプリを使用しない場合に記入するものです。

本シートは、第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催に当たり新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の皆様の健康状態及び行動歴を確認することを目的としています。本シートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、入場や参加可否の判断及び必要な連絡のために利用します。また、感染者又は感染の疑いのある方が判明した場合には、必要な範囲で保健所等の関係機関に情報を提供することがありますので、ご了承ください。なお、本シートは、一定期間保管した後破棄します。

所属 (チーム名等)	(ふりがな) 氏名	電話番号 (携帯電話等)
---------------	--------------	-----------------

住 所	基礎疾患等 (ある場合に記入)
-----	--------------------

日付		10日前	9日前	8日前	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	来場初日
項目		7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2
体温 (0.1℃単位で記入してください)	(起床時)	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
	(就寝時)	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

該当する項目のみチェック (✓) 又は必要事項を記入してください (該当しない項目は空欄のままとしてください)。

症状なし												
呼吸器症状がある												
頭痛がある												
健康状態 からだが重い、疲れやすい、倦怠感(だるさ)がある												
味覚や嗅覚の異常がある												
下痢・軟便がある												
発熱及び上記の各症状を緩和又は改善させるために薬剤を服用した ※1												
行動歴 新型コロナウイルス感染症の感染者と濃厚接触がある※2												
同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる												
政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある又はこれらの国、地域等への渡航歴がある者若しくは在住者との濃厚接触がある												
該当する場合は国、地域等を記入してください。												

※1 新型コロナウイルス以外の疾患である旨の医師の診断に基づき処方された薬剤は除きます。

※2 保健所の調査において新型コロナウイルス感染症感染者の濃厚接触者と判断されたものとします。

体調管理チェックシート（期間中（2日目以降）用）

※健康アプリを使用しない場合に記入するものです。

所属 (チーム名等)	
(ふりがな)	
氏 名	
電話番号 (携帯電話等)	

体温や該当する項目にチェック(✓)又は必要事項を記入してください。

日付（記入してください）		/
項目（体温や該当項目に✓等を記入してください）		
体温（0.1℃単位）	(起床時)	℃
	(就寝時)	℃
症状なし		
健康 状 態	呼吸器症状がある	
	頭痛がある	
	からだが重い、疲れやすい、倦怠感（だるさ）がある	
	味覚や嗅覚の異常がある	
	下痢・軟便がある	
	発熱及び上記の各症状を緩和又は改善させるために薬剤を服用した※1	
行 動 歴	新型コロナウイルス感染症感染者と濃厚接触※2がある	
	同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる	
	政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある又はこれらの国、地域等への渡航歴がある者若しくは在住者との濃厚接触がある	
該当する場合は国、地域等を記入してください。		

※1 新型コロナウイルス以外の疾患である旨の医師の診断に基づき処方された薬剤は除きます。

※2 保健所の調査において新型コロナウイルス感染症感染者の濃厚接触者と判断されたものとしします。

本シートは、大会開催に当たり新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の皆様の健康状態及び行動歴を確認することを目的としています。
 本シートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、入場や参加可否の判断及び必要な連絡のために利用します。
 また、感染者又は感染の疑いのある方が判明した場合には、必要な範囲で保健所等の関係機関に情報を提供することがありますので、ご了承ください。
 なお、本シートは、一定期間保管した後破棄します。

体調管理チェックシート（総括表）

※健康アプリを使用しない場合に記入するものです。

○チーム感染防止対策担当者は、所属選手及び監督（チームスタッフを含む）の体調管理チェックシートの記載等を確認したうえで、本シート（総括表）を作成し、受付時に提出してください。

チーム名	
------	--

チーム感染防止対策担当者名	電話番号 (携帯電話等)
---------------	-----------------

スタッフ数 (うち体調管理チェックシートの提出枚数)	名 (枚)	選手数 (うち体調管理チェックシートの提出枚数)	名 (枚)
-------------------------------	----------	-----------------------------	----------

当選手団所属選手等の

本日及び本日より10日間の

本日の

健康状態等は次のとおりです。

※いずれかの口に✓を記入

※いずれかの口に✓を記入

	日付（記入してください）
項目（該当する項目にチェック（✓）を記入してください）	/
当選手団所属選手等のPCR検査の結果は陰性である。（来場初日のみ記入してください）	
下のいずれの項目にも該当する者がいない。	
37.5℃以上の発熱がある者がいる	
健康状態	
「呼吸器症状がある」に該当する者がいる	
「頭痛がある」に該当する者がいる	
「からだが重い、疲れやすい、倦怠感（だるさ）がある」に該当する者がいる	
「味覚や嗅覚の異常がある」に該当する者がいる	
「下痢・軟便がある」に該当する者がいる	
「発熱及び上記の各症状を緩和又は改善させるために薬剤を服用した」に該当する者がいる (新型コロナウイルス以外の疾患である旨の医師の診断に基づき処方された薬剤は除きます)	
行動歴	
「新型コロナウイルス感染症感染者と濃厚接触がある」に該当する者がいる	
「同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる」に該当する者がいる	
「政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある又はこれらの国、地域等への渡航歴がある者若しくは在住者との濃厚接触がある」に該当する者がいる	

本シートは、大会開催に当たり新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の皆様の健康状態及び行動歴を確認することを目的としています。
 本シートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、入場や参加可否の判断及び必要な連絡のために利用します。
 また、感染者又は感染の疑いのある方が判明した場合には、必要な範囲で保健所等の関係機関に情報を提供することがありますので、ご了承ください。
 なお、本シートは、一定期間保管した後破棄します。

宣誓書（観戦者用）

本宣誓書は、参加者個人の健康状態を記録・把握することを目的としています。

宣誓書に記載された個人情報は、大会主催者が適切に取り扱い、上記の目的のほか参加可否の判断、必要な連絡のためにのみ使用します。ただし、大会関係者から感染又はその疑いがある人が発見された場合には、必要な範囲で保健所、医療機関等に情報を提供することがあります。

- ① 本日及び本日より前 10 日間の健康状態等について、以下の項目に該当はありません。

項 目	
37.5℃以上の発熱がある	
健康状態	呼吸器症状がある
	頭痛がある
	からだが重い、疲れやすい、倦怠感（だるさ）がある
	味覚や嗅覚の異常がある
	下痢・軟便がある
	発熱及び上記の各症状を緩和又は改善させるために薬剤を服用した※ 1
行動歴	新型コロナウイルス感染症感染者と濃厚接触※ 2 がある
	同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる
	政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある又はこれらの国、地域等への渡航歴がある者若しくは在住者との濃厚接触がある

※ 1 新型コロナウイルス以外の疾患である旨の医師の診断に基づき処方された薬剤は除きます。

※ 2 保健所の調査において新型コロナウイルス感染症感染者の濃厚接触者と判断されたものとします。

- ② 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関し、大会実行委員会が定める措置の遵守、指示に従います。
- ③ 大会終了後10日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに大会実行委員会に報告いたします。

私は、「第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会」を観戦するにあたり、上記内容について厳守することを宣誓し、署名します。

住所	
（ふりがな）	
氏 名	
電話番号 （携帯電話等）	

誓約書 兼 同意書 (選手用)

令和 4年 月 日

第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会
苫小牧市実行員会 会長 岩倉 博文 様

第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針について厳守することを誓約し、参加することに同意します。

◇チーム名 ()

選手氏名

保護者氏名 印

保護者連絡先 () -

※必ず自署・押印してください。

◇選手の基礎疾患の有無〈どちらかに○をお願いします〉

基礎疾患 無
有 ()

※具体的な病名を記入してください。

誓約書 兼 同意書（監督・チームスタッフ用）

令和 4年 月 日

第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会
苫小牧市実行員会 会長 岩倉 博文 様

第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針について厳守することを誓約し、参加することに同意します。

◇チーム名 ()

氏 名 ⑩

保護者氏名 ⑩

保護者連絡先 () -

※マネージャー等のチームスタッフが学生の場合は、保護者の自署、押印が必要になります。

◇監督・チームスタッフの基礎疾患の有無〈どちらかに○をお願いします〉

基礎疾患 無
有 ()

※具体的な病名を記入してください。